

# ふるさとに学び、心豊かに生きる生徒の育成

## 敦賀市立栗野中学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	7回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ) 5日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	44人
授業ボランティア(含:低ボラ)	113人
登下校支援ボランティア	20人
その他(掲示・花・図書ボランティア)	87人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

#### (1) 地域指導者教室



本校では、敦賀の地に残る歴史や文化、伝統、工芸、自然に関する講座を開設し、そこにゲストティーチャーを招いて体験活動を主とした地域指導者教室を毎年開催している。今年で11回目を迎える教室では、郷土に関する講座(柴田音頭とすてな踊り、まな料理、和太鼓、竹細工)や昔からの遊びに関する講座(手芸、囲碁、将棋、切り絵)や環境に関する講座(ソーラーパネルや電気自動車)等、13講座を設けた。約40名のゲストティーチャーの中には、1回目から毎年来ていただいている方や、毎年この日を待ち遠しく思われている方もおり、とてもありがたく感じている。

8月の初旬から講師の方々と何回も連絡を取り、準備物や当日の日程など詳細に打ち合わせを行った。当日は、ゲストティーチャーの講座に対する思いと情熱が生徒にも伝わり、どの生徒も熱心に体験活動に取り組んでいた。また、ゲストティーチャーと対戦したり、質問したり、共同作業を行ったり等、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができた。



#### (2) ふるさと再発見推進事業

敦賀市では平成18年度から「ふるさと再発見推進事業」を行っており、社会の方々とのふれあいを通して、地域や人に対する思いやりの心を持った生徒を育てていくことを目的としている。そして、ふるさとを愛し、誇りに思い、将来自信を持って「ふるさと敦賀」を語れる人間に成長してくれればと考えている。

##### ① 1年ふるさと学習「池河内湿原と気比神社」

刀根地区にある気比神社に保管されている重要文化財である仏像を見せていただいた。そして、この地にまつわる歴史についても地域の方々から講話をいただいた。その後、敦賀の水源でもある池河内湿原に行き、動植物の実態と湿原を守る努力等を学んだ。山頂付近に湿原があることは現地に行くまでイメージできなかったようで、ふるさとの自然の不思議を再発見する場となった。



② 2年ふるさと学習「木ノ芽峠の名所旧跡」

北陸道の要衝である木ノ芽峠に登り、峠の茶屋・言奈地蔵・戦国時代の城跡を訪ね、ふるさとの歴史や文化を体験的に学ぶことができました。生徒がこの地を訪れるたのは、初めてであり興味を持って活動に参加していた。



③ 3年ふるさと学習「西福寺と鞠山南地区多目的国際ターミナル」



西福寺では、山門・本堂・庭園を見学し、寺の歴史と庭園、西福寺と関係した歴史についての講話を伺った。歴史ある建物や史跡を見学し、改めてふるさとの歴史の深さを認識することができた。

完成間もない多目的ターミナルでは、新港の概要とこれからの計画について説明を受けた。普段入れないところまで見学でき、その大きさと敦賀港の未来の可能性について学習することができた。

成果と課題

地域指導者教室が始まってから年数が経過し、講師の方々の高齢化が進んできている。そのため今年は講座が1つ減り、来年度は「まな料理」の講座も開講できなくなる予定である。本校の生徒数は増加しているので、新たな講座の開設が急務である。

ふるさと再発見推進事業で行ったふるさと学習では、各学年とも計画的、意欲的に取り組み、生徒のふるさと意識の醸成の一助となったと考えている。しかし、ふるさと学習の定着を図る中で、小学校での学習内容や、体験活動との連携を十分に取りながら計画的・系統的にふるさと学習を推進していく必要性を感じている。